

第2回 石子沢川流域水害対策協議会の開催概要



- 令和7年2月21日に「第2回石子沢川流域水害対策協議会」を開催。
- 実務者会議を経てとりまとめた計画(素案)内容について説明を行い、「石子沢川流域水害対策計画(素案)」を了承。今後、パブリックコメントを実施し、地域からの意見を踏まえて令和7年3月中の計画策定を目指すことを確認した。



東北地方整備局 安岡副局長 やすおか

- 気候変動における水災害の頻発化・激甚化は山形県内においても影響が大きく、流域全体で取り組む「流域治水」の必要性が一層高まっている。
- 石子沢川流域水害対策計画の素案は、流域にある地形、施設等を有効に活用し、流域のあらゆる関係者が連携して取り組む対策となっている。忌憚のないご意見を。



中山町 佐藤町長 なかやま まさひろ さとう

- 最上堰(農業用水路)の機能は町内の浸水対策に直結するものであり、計画の実現に向け最上堰土地改良区と連携を強化していきたい。
- 隣接する山辺町とこれまで以上に、助け合い、協力しながら災害に強いまちづくりを進めていきたい。
- 町内には、石子沢川流域以外にも浸水対策が必要な地域があるので、今回の計画をベースに町全域で、包括的な雨水災害対策の検討を進めていきたい。
- 計画案を町民皆様からご意見を頂戴し、より良い計画となるよう努めていきたい。



山辺町 安達町長 やまの べまち あだち

- いつ訪れるかわからない災害に対して危機感を持って、備えていく必要があると考えている。
- 町として新規に排水ポンプ車整備を予定している。また、中山町と災害に関する応援協定の締結を進めている。
- 国・県・中山町、関係機関と連携して安全なまちづくりに向け、取り組んでいきたい。



ゲンサイデイズ 細谷代表 ほそや

- 中山町での切れ目のない防災教育は、災害の仕組み、防災対策、避難行動、その後の暮らしの復興まで、学校教育で体験し、学ぶ事ができるように取り組んでいる。
- 石子沢川流域で生まれたこの防災教育が、最上川流域の県民にも暮らしの工夫として発展、拡大するような防災教育の基礎となるのではないかと期待している。



山形県県土整備部 工藤技術統括監 くどう

- 河川管理者の取組のほか、雨水貯留施設整備、田んぼダムや農業用水路といった農業施設を活用した取り組みなど、あらゆる関係機関が連携した総合的な計画となっている。
- 石子沢川流域が対策の実施により、水害に強い地域となり、この取り組みが他の河川における新たな流域治水のモデルとなることを期待したい。



意見交換の様子

【出席者】

- 山形県知事(代理) 県土整備部 工藤技術統括監
- 山辺町 安達町長
- 中山町 佐藤町長
- 最上堰土地改良区(代理) 青柳副理事長
- ゲンサイデイズ 細谷代表
- 東北農政局農村振興部長(代理) 原子水利調整推進室長
- 気象庁山形地方气象台 有賀台長
- 東北地方整備局局長(代理) 安岡副局長